

評価基準に基づく評価項目別の総合値

評価項目	配点	提案者別の評価値	特記事項
		BIPROGY株式会社 関西支社	
1 事業目的の理解度	40	28	事業者の参画を促す仕掛けは現実的なもので評価できる。 実証段階の提案が含まれており、実装化促進という事業趣旨との親和性に疑問がある。
2 宮島・宮島口での更なる定着・拡大 (令和7年度業務の課題への対応)	60	36	令和7年度から継続して導入する生分解性プラスチックカップについて、実装化に係る課題の解決策が弱い。
3 宮島・宮島口での更なる定着・拡大 (代替素材製品の受発注)	20	13	
4 宮島・宮島口での更なる定着・拡大 (未参加事業者の参加促進)	40	30	
5 宮島・宮島口での更なる定着・拡大 (継続利用への誘導策)	60	36	
6 宮島・宮島口での更なる定着・拡大 (差額補填手法)	20	15	前年度参画事業者と新規参画事業者との差別化が充分でない。
7 認知拡大(広報戦略)	40	22	提案された内容は事業の認知拡大を進めるにあたって、期間内を通じて継続して実施されるとはいえない。
8 認知拡大(視覚的に認知できる仕掛け)	60	42	地元自治体や企業への働きかけについて、ストーリー性をもって訴求する内容になっている。
9 認知拡大(海ごみ対策と理解できる仕掛け)	40	26	
10 県内他地域での拡大に向けた次期モデル地区の調査・分析(候補地の選定理由)	40	32	各候補地について先行調査を行い、複数の視点から具体的に検討した上で選定されている。
11 県内他地域での拡大に向けた次期モデル地区の調査・分析(調査手法)	60	45	候補地に係る観光特性や先行的な現地調査を実施しており、内容に具体性がある。 地元自治体が協力の意向を示していないため、実施体制の構築に懸念がある。
12 県内他地域での拡大に向けた次期モデル地区の調査・分析(調査票の具体性)	60	39	
13 実施体制	40	30	類似事業に関する実績を十分に有しており、専門的な知見を持つ担当者が対応する体制になっている。
14 スケジュール	20	15	
15 予算経費及び内訳	40	24	
総合値(委員全員の評価値の合計)	640	433	

※「配点」及び「提案者別の評価値」は、委員5名分の合計値である。